

## 2年目以降の骨塩定量検査 詳記内容に関して

### ※ 基本原則（必須）

- 「骨粗鬆症の診断・経過観察としての必要性」を明記
- 留意事項（ア～カ）のどれに該当するかが分かる記載
- 「理由+目的+背景」をセットで記載

### ① ア：治療開始後1年以内

#### 記載案

- 骨粗鬆症治療開始後〇ヶ月、効果判定のため骨密度測定
- 骨粗鬆症治療を新規導入し経過観察中のため
- 治療再導入後の骨密度評価目的

#### 追記案

- 治療開始日
- 再開の場合は「〇年中断後再導入」

### ② イ：新規骨折

#### 記載案

- 軽微外傷による骨折を認め骨粗鬆症評価のため
- 新規骨折発生に伴う骨密度評価
- 脆弱性骨折疑いのため骨密度測定

#### 追記案

- 「低エネルギー外傷」
- 「骨粗鬆症性（脆弱性）骨折」

### ③ ウ：骨折危険因子の新規増加

#### 記載案

- 転倒リスク増加を認め骨折リスク再評価のため
- フレイル進行に伴う骨折危険因子増加のため
- ステロイド治療開始に伴い骨折リスク上昇
- 活動性低下に伴う骨密度低下リスク評価

#### 追記案

- 「新規に」または「最近」などの時間軸を入れる

### ④ エ：ビスホスホネート中断検討

#### 記載案

- BP 治療○年経過し休薬可否評価のため
- drug holiday 検討目的で骨密度測定
- 治療継続／中断判断のため再評価

#### 追記案

- 治療期間（例：3年以上）

#### ⑤ オ：骨代謝に影響する薬剤投与

##### 記載案

- プレドニン内服中の骨量評価のため
- アロマターゼ阻害薬治療中の骨密度評価
- 抗アンドロゲン療法に伴う骨量低下評価
- 骨形成促進薬投与中の効果判定

##### 追記案

- 薬剤名を明記
- 「投与中」と明確に記載

#### ⑥ カ：骨代謝に影響する疾患

##### 記載案

- 関節リウマチに伴う骨量低下評価
- 長期不動による骨密度低下評価
- CKDに伴う骨代謝異常評価
- フレイル・低栄養に伴う骨折リスク評価

##### 追記案

- 疾患名＋骨への影響をセットで記載

#### 組み合わせ記載案

- 関節リウマチおよびステロイド治療に伴う骨量低下評価
- 長期不動および転倒リスク増加のため骨密度測定
- 骨折後および骨折危険因子増加のため再評価

#### 実務のポイント

- 留意事項のどれに該当するかを明確にする
- 「理由＋目的＋背景」で記載
- 組み合わせることで査定リスクを低減